

Vericut V9.6 クラウドライセンス版 インストールガイド

ベリカットのインストール手順

ベリカットを正常にインストールするためには、以下の手順で作業を進めます。

- | | |
|------------------|----------|
| I. インストール環境の確認 | 本ページ |
| II. ライセンス情報の確認 | 手順(1) |
| III. インストーラーの準備 | 手順(2~3) |
| IV. ベリカットのインストール | 手順(4~17) |
| V. ベリカットの起動確認 | 手順(18) |

ベリカットのインストール環境

インストール作業の開始前に必ずハードディスクの空き容量、使用OSなどインストール環境を確認してください。
ベリカットの推奨動作環境は巻末の「付録2 ベリカットの動作環境」をご確認ください。

ハードディスク容量	フルインストール時8GB以上の空き容量(サンプル、電子マニュアルなどを含む) 各オプションを追加する際は上記より空き容量が必要になる場合があります。 *インストール時は、上記に加え2GB以上の空きディスク容量が必要です。
Windows OS	Windows10/11 64bit (CATIA-V5インターフェースはWindows Script5.3以上) *「Windows Virtual Machine(VM)」などの仮想マシンはサポートしません。 *Windows10(32bit版)は対応しておりません。 *Windows10は2025年10月にMicrosoft社によるサポートが終了予定です。 安全性と将来の互換のため、Windows11でのご利用を推奨いたします。

**【重要】 インストールは管理者(administrator)権限のアカウントで行ってください。
(右クリックの「管理者として実行」では正常にインストールできません。)**

ライセンスの情報

ベリカットをクラウドライセンスで運用します。
実際の構築環境を確認し、本書の手順に従って作業を進めてください。

1. クラウドライセンスの情報を確認

担当者様宛に件名が「Vericut クラウドライセンス情報送付のご案内」のメールが届きます。
メールに記載された「ホストURL」および「クラウドライセンスキーキー」の情報を確認してください。
クラウドライセンスの設定では、ホストURL、クラウドキーの両方を使用します。



インストーラーの準備

USB版およびダウンロード版で行うすべてのインストール作業で必要な準備です。ダウンロード版のURLはベリカットご担当者様に個別にお知らせしております。所定のURLからダウンロードしてください。

2. インストーラーの準備(USB版)

- (1) 製品USBメモリをPCのUSBポートに装着します。
- (2) Windowsのエクスプローラーを起動し、[PC]をクリックします。
- (3) 装着したUSB(リムーバブルドライブ)の中身を表示します。

3. インストーラーの解凍

- (1) ダウンロードしたZIPファイル(dvd_961_ja)の上で右クリックし、コンテキストメニューで[すべて展開(T)...]を選択します。
- (2) 「圧縮(ZIP形式)フォルダーの展開」ウィンドウで、展開先がローカルフォルダーになっていることを確認し、[展開(E)]ボタンを押します。
- (3) ZIPファイルの展開で作成された[dvd_961_ja]の上で右クリックし、コンテキストメニューで[開く]を選択します。



*DLしたファイル名、解凍したフォルダ名はバージョンにより名称が異なります。

ベリカットのシステムインストール(4~17)

ベリカットのシステムインストールを行う作業です。

かならず[手順1]で確認したライセンス情報を手元にご用意のうえ、作業を進めてください。

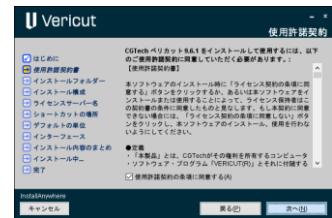
4. ベリカットのインストール(1) インストーラーの起動

- (1) [手順2~3]で展開したフォルダー内に格納されている「Vericut_install_v961.exe」の上で右クリックし、コンテキストメニューで[管理者として実行]を選択します。
- (2) インストーラーが開始したら、表示言語を選択し、OKボタンを押します。
*表示言語は日本語／英語のいずれかをリストで選択できます。



5. ベリカットのインストール(2) 使用許諾契約書

- (1) 「はじめに」のページで内容を確認し、ボタンを押します。
- (2) 「使用許諾契約書」を一読し、内容を確認した上で「使用許諾契約書の条項に同意する」にチェックを入れて、次へ(N)ボタンを押します。
- (3) キャンセルをクリックすると、インストール作業の終了を選択できます。



6. ベリカットのインストール(3) インストール先の指定

- (1) インストール先のフォルダーを指定します。
- (2) 入力内容を初期設定に戻す場合は デフォルトのフォルダーに復元する(R) を押します。
- (3) 選択(O...)を押すと、インストール先として任意のフォルダーを指定できます。
- (4) 次へ(N)ボタンを押します。



7. ベリカットのインストール(4) システム構成の選択

- (1) インストールする構成を指定します。通常は「すべての構成」を選択します。
インストール内容を変更したい場合は、「本体と電子マニュアル」または「カスタム」を選択します。
- (2) 次へ(N)ボタンを押します。

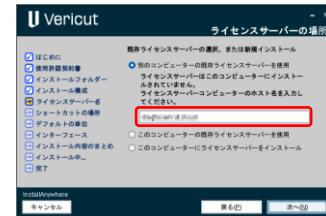
*「カスタム」選択時は次画面で構成内容(ベリカット／電子マニュアル／サンプルとトレーニングのファイル)をチェックボックスで選択し 次へ(N) を押します。



8. ベリカットのインストール(5) ライセンスサーバーの設定

クラウドライセンスを使用するための設定を登録します。

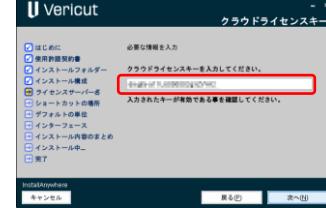
- (1) 「別のコンピューターの既存ライセンスサーバーを使用」を選択します。
- (2) ホスト名入力フィールドに[手順1]で確認した「ホストURL」を入力します。
- (3) 次へ(N)ボタンを押します。



9. ベリカットのインストール(6)クラウドライセンスキーの設定

- (1) 続けてライセンスキーを入力する画面になります。
[手順1]で確認した「クラウドキー」を入力します。
- (2) 次へ(N)ボタンを押します。

*この画面はクラウドライセンス(ホストURL)を指定した場合にのみ表示されます。



10. ベリカットのインストール(7) ショートカットの作成場所

- (1) ショートカットを作成したい場所にチェックをつけます。
デスクトップ／クイック起動バー／プログラムグループを選択できます。
*プログラムグループのチェックは極力外さないでください。
プログラムグループを作成しないと、Windowsのスタートメニューから
ベリカットの各種操作が利用できなくなります。
- (2) 「すべてのユーザーにアイコンを作成する」は、必要に応じてチェックを入れます。
- (3) 次へ(N)ボタンを押します。



11. ベリカットのインストール(8) 作成するアイコンの選択

- (1) 「VERICUT」または、「VERICUT Single platform」の
いずれか(ご購入になった製品)にチェックを入れます。
- (2) 以下のシステムも直接起動の必要性に応じて選択できます。
・Reviewer
・VERICUT Drilling and Fastening(VDAF)
・ToolMan
・AssemblyManager
- (3) 次へ(N)ボタンを押します。



12. ベリカットのインストール(9) デフォルトの単位の選択

- (1) ベリカットで新規ファイルの作成時に選択されるデフォルトの単位を「インチ」または「ミリ」のいずれかを指定します。

(2) 次へ(N) ボタンを押します。



13. ベリカットのインストール(10) ヘルプ方式の選択

- (1) ベリカットで表示するヘルプの仕様を「オンライン(英語版)」または「ローカル」のいずれかを指定します。

*日本語版のヘルプは「ローカル」方式で用意されています。

(2) 次へ(N) ボタンを押します。



14. ベリカットのインストール(11) ベリカットインターフェースの選択

- (1) オプションを購入されている場合は、該当製品の項目にチェックを入れます。

・Espritインターフェース

(EDGE 2024.4.xxx and later／2024.3.xxx and earlier／TNG Build20／Build19)

・Edgecamインターフェース

(2025.1/2024.1.2515/2023.1/2022.1.2228/2022.0.2211/2021/2020.1/2020)

・Mastercamインターフェース

(2026／2025／2024)

・GibbsCAM インターフェース

(2026／2025／2024／2023)

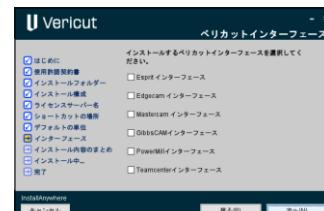
・PowerMill インターフェース

・Teamcenter インターフェース

(2) 次へ(N) ボタンを押します。

- (3) 指定したソフトウェアによっては、次画面でフォルダーの確認画面を表示します。

パスを確認して 次へ(N) ボタンを押します。



15. ベリカットのインストール(12) インストール内容の確認と実行

- (1) 「インストール前の要約」ページで内容を確認します。

(2) インストール(I) ボタンを押すとインストールが開始されます。

*インストール内容を変更したい場合は 戻る(B) ボタンを押して
変更したい項目まで戻り、設定内容を変更してください。

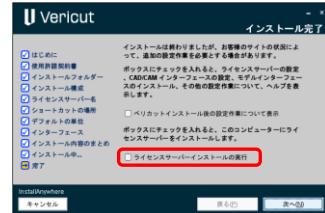
*インストール実行中は最新インフォメーションが画面に表示されます。



16. ベリカットのインストール(13)インストールがおわったら

インストールを終えると「インストール完了」の画面に切り替わります。

- (1) クラウドライセンス版のインストール作業では、ライセンスサーバーのインストールは必要ありません。
「ライセンスサーバーインストールの実行」にチェックがついていないことを確認します。
- (2) ボタンを押します。



17. ベリカットのインストール(14)インストール完了

インストールの完了報告の画面に切り替わります。

ボタンを押してインストーラーを終了します。



ベリカットの起動確認

インストール作業がすべて終了したら、正常に起動するか確認します。

18. ベリカットの起動

デスクトップに作成された『Vericut 9.6.x』のアイコンをダブルクリックします。

またはWindowsのスタートメニュー()で  をクリックしてアプリ一覧に表示を切り替え、[ CGTech ベリカット 9.6.x]グループにあるアイコン『 Vericut 9.6.x』を選択します。

ベリカットが正常に起動できることを確認します。



付録(1)ベリカットのアンインストール

エクスプローラーで、ベリカットのインストール先のフォルダーを表示します。

さらに直下の「Uninstaller」フォルダーに移動し、「 CGTech ベリカット 9.6.1 をアンインストール.exe】を右クリックして、[管理者として実行]します。

(Cドライブにインストールしている場合のパス例)

C:\Program Files\CGTech\Vericut 9.6.1\Uninstaller\

付録(2)ベリカットの動作環境

- 2又は3ボタンのマウス（マウスホイール付の3ボタンマウスを推奨します）。
- ネットワーク接続を有するハードウェア
- 16ビット(65万色／High Color)以上のグラフィックスカード
- ハードウェアグラフィックスアクセラレータが必須です(NVIDIA社製GPUを推奨します)。
- グラフィックスメモリは2GB GPU RAM(推奨4GB)以上が必要です。
- 画面解像度は1920×1080以上必要です(低解像度では縦方向の表示が切れる場合があります)。
- メモリは最小16GB、推奨は32GB以上です。

OS	Windows10／11 64ビット Professional *Windows10は2025年10月にMicrosoft社によるサポートが終了予定です。 安全性と将来の互換のため、Windows11でのご利用を推奨いたします
プロセッサー	AMD Ryzen Threadripper(推奨)、インテルi7、Xeon
メモリ	32GB以上推奨（最低16GB以上）
ビデオ	AMD Radeon RX 4GB GPU RAM以上推奨（最低2GB以上） NVIDIA GeForce 2GB GPU RAM以上
ディスク	SSD(Solid State Drive) 最低50GB以上の空きNVMe接続を推奨



付録(3) 手順索引

手順番号と作業内容は各構築環境で共通です。

作業フローは巻頭の「はじめに インストール作業の確認」のフローチャートを参照してください。

【手順 4】 インストーラーが起動しない

vericut_install_v961.exeを直接実行したのち、5分以上経過してもインストーラーが起動しない場合は、Windows内に必要なランタイムファイルが登録されていない可能性があります。

新規のPC、またはMicrosoftOfficeがインストールされていないPCで発生することがあります。

ベリカットFAQサービス(<https://faq.vericut.jp/>)内の「ファイルのダウンロード」より、Javaのランタイム環境入手してインストールしてから、再度お試しください。

【手順 4】 インストーラーで言語選択ができない

インストーラーが起動した際に言語選択が表示されずに、英語版で立ち上がることがあります。

この現象はJAVAのバージョン1.7がインストールされていない時に発生することがあります。

本現象が発生したときには、次の手順でインストーラーを直接起動してください。

Windowsの[(スタート)]>[プログラムとファイルの検索]に以下の内容を入力します。

USB版のインストーラーで、USBドライブがUドライブの場合(U:¥)の入力例

「U:¥ Vericut_install.exe -l ja_JP」

実際のパス名は手順6で表示したフォルダ名を参照してください。

オプションパラメーターは「ハイフン・エル(小文字)」と「ja(小文字)_アンダーバーJP(大文字)」です。

ファイル名とふたつのオプションパラメーターの間はそれぞれ半角スペースで区切れます。

【手順 18】「ライセンスサーバーが見つかりません」というエラーが出てベリカットが起動しない

インターネット通信が確立できていないなど、クラウドライセンスサーバーと接続ができないときに発生します。通信環境の見直しをしてください。

また[手順8 ライセンスサーバーの設定]でホストIDを設定する際に、存在しないライセンスサーバー名、またはスペルミスなどで誤登録した場合にも同様のエラーが出ます。

現在の設定内容は以下の手順で確認できます。

1. ベリカットの起動アイコンの上で右クリックし、コンテキストメニューで[ファイルの場所を開く]を選択します。
2. 表示された「commands」フォルダー内にある「 cgtenv.bat」ファイルの上で右クリックします。
3. コンテキストメニューから[編集]を選択します。
4. 表示されたテキストエディタで、10行目付近の「set LSHOST=」の値を確認します。
手順(1)で確認したホストIDが正しく設定されていることを確認してください。



```

cgtev.bat
ファイル 編集 表示
@echo off
rem CGTech, Copyright, All Rights Reserved
rem This file sets up the CGTech License environment
rem It should be called from another CGTech batch file
rem The following environment variable specifies the license server host name
rem Change the host name after the "=" to specify a different license server
set LSHOST=vericut.cloud

rem The following environment variable specifies the cloud license server key.
rem If using a local license, remove the "rem" and enter the CGTECH_CLOUD_KEY
received from CGTech.
set CGTECH_CLOUD_KEY=rem %CGTECH_CLOUD_KEY%
set CGTECH_CLOUD_KEY=%CGTECH_CLOUD_KEY%:=%
set LSHOST=%LSHOST%:=%

行 18, 列 1 654 文字 テキスト 100% Windows (CR/LF) UTF-8

```

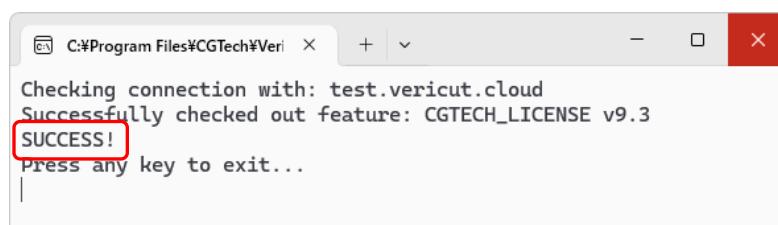
cgtenv.batファイルの設定内容に問題が無い場合は、「 cloud_license_test.exe」ファイルで接続テストを行うことが出来ます。デフォルトでは下記の場所にインストールされています。

C:\Program Files\CGTech\Vericut 9.6.1\windows64\commands

クラウドライセンスサーバーはUDPポート5093を使用します。

接続テストで失敗した場合は、ファイアウォールの設定、VPNの設定などを確認してください。

(接続テストの成功例)



【手順 18】「共有ライブラリーにアクセスできません」というエラーが出てベリカットが起動しない

マイクロソフトのC++ランタイムライブラリーの関連で発生するエラーで、新規のPCなどで発生することがあります。ベリカットのインストール先に用意されているファイル(vc_redist.x64.exe)を実行して、必要なランタイムライブラリーをインストールしてから再度お試しください。

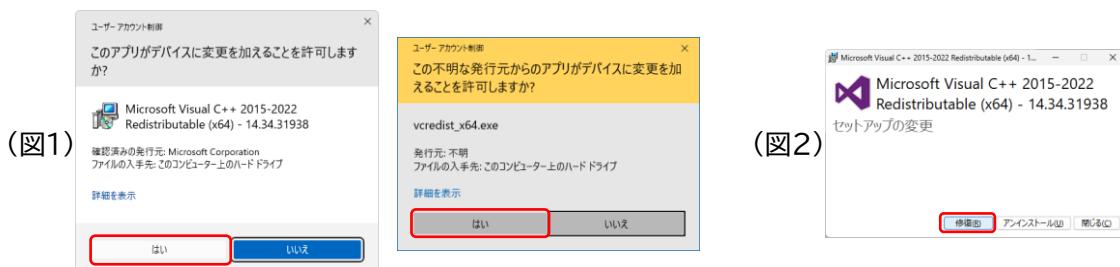
実行ファイルの収納先(インストール先がCドライブの場合)

C:\Program Files\CGTech\Vericut 9.6.1\windows64\spatial\iop2025\redist\VC17\

アドレス内の数字はバージョンにより異なることがあります。

(図1)のようなユーザー アカウント制御の警告メッセージが表示された場合、すべて「はい」を選択して処理を進めてください。

(図2)のメッセージが表示された場合は、「Repair」を選択してください。



ランタイムライブラリーのインストール時に「ディスク領域が足りません」などのエラーが表示される場合があります。

他のアプリケーションのハードウェアキーなどがポートに挿入されていないかをご確認ください。

該当する場合は、ハードウェアキーを外した状態で再度インストールをお試しください。